

札幌市こども人形劇場こぐま座 令和5年度管理業務報告書

1 管理業務の実施状況

項 目	実 施 状 況	評 価 ・ 反 省												
1. 管理の基準														
(1)開館時間及び休館日	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 15%;">開館時間</td> <td>午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>休 館 日</td> <td>(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる時は、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>開館日数</td> <td>309日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>休館日数</td> <td>57日</td> </tr> </table>	1	開館時間	午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで	2	休 館 日	(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる時は、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで	3	開館日数	309日	4	休館日数	57日	/
1	開館時間	午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで												
2	休 館 日	(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる時は、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで												
3	開館日数	309日												
4	休館日数	57日												
(2)施設使用の承認について	・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、実施した。													
(3)利用の制限に関する事項	・該当事例なし。													
(4)札幌市個人情報保護条例の適用について	・個人情報の取り扱いについては、札幌市個人情報保護条例に基づき適正に処理を行った。また、個人情報の開示の要望はなし。													
(5)札幌市情報公開条例の適用について	・該当事例なし。													
(6)札幌市行政手続条例の適用について	・札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行った。													
(7)札幌市オンブズマン条例の適用について	・該当事例なし。													
(8)札幌市暴力団の排除の推進に関する条例の適用について	・札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、適正に処理を行った。該当照会実績なし。 (使用承認申請書での確認、協定に関連する契約業者の確認)													
(9)障害者差別解消法の適用について	・障がい者差別解消法を踏まえた、札幌市の対応方針及び接遇要領に基づき、合理的配慮等の利用者対応を行った。													
2. 統括管理業務														
(1)管理運営業務の基本方針の策定	『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』 札幌市こども人形劇場こぐま座は、「人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」を目的に設置された施設である。 全国的にも珍しい子どものための専門劇場であり、子どもたちが人形劇等に親しみ、笑顔あふれ、夢を持って育つことを願い運営を行うことを基本方針として策定した。	・施設設置の理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方と、地域における劇場の役割を具体化し実践した。また、当方針を達成するため全職員が意識を1つにして、親しみやすい劇場作りに努めた。												
(2)平等利用の確保に向けた考え方と取組	人形劇等の子どもたちのために舞台表現活動を行う団体に対しては幅広く受け入れ、優れた作品を上演できるよう支援を行った。劇場職員は、観客である子どもとその家族を温かく迎え入れ、親しみやすい雰囲気を作ると共に、上演する団体の支援者となることに努めた。													
(3)地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進	環境行動マニュアルに基づき、環境に意識し業務を推進した。観客に無理のない範囲で冷暖房の節約を行い、電気量の節電など環境に配慮した取組を行った。	・環境行動マニュアルに基づき、各エネルギー(電気、水道等)の節約に努め、施設運営を行った。												

(4)管理運営組織の確立

- ①責任者の配置、組織整備
・統括責任者1名配置。
・事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。

- ②従事者の確保・配置
・職員の配置体制

統括責任者	1名	統括責任者(やまびこ座・こぐま座兼務)
職務代理者	1名	こぐま座の管理運営責任者 (中島児童会館兼務)
事業指導担当者	1名	/
舞台技術担当者	1名	
事業担当補助者	1名	
計	5名	

③人材の育成

(1)派遣研修(劇場運営関係)

全国人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門知識向上に努めた。

- ・こども文化セミナー参加
9月23日(土・祝) 職員4名
- ・こどものまなび塾参加
10月5日(木)～8日(日)～遊び心セミナー～職員1名
10月19日(木)～20日(金)～手作りおもちゃ～職員1名
10月26日(木)～28日(土)～昔あそび～職員1名
11月9日(木)～10日(金)～わらべうた～職員1名
11月16日(木)～17日(金)、25日(土)～読み聞かせ～職員1名
12月7日(木)、14日(木)、1月11日(木)～あそびを企画～職員2名
- 1月14日(日)～MASOBOカーニバル～職員4名
- ・広域文化支援ネットワーク形成事業(福島県)参加
2月9日(金)～13日(火) 職員1名
3月22日(金)～25日(月) 職員1名

(2)こどもの劇場・こども人形劇場職員研修

- ・職員研修
人形劇ゼミナール(人形劇指導研修)※児童会館部門と共同
4月27日(木)～7月17日(月・祝) 職員2名
- ・文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業「文化の扉をひらこう！」
研修「障がい児への適切な理解と支援」
11月26日(日)職員4名
- ・将来構想/広報戦略プロジェクト
通年 職員4名

(3)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修

- ・コンプライアンス研修
- ・多様性研修
- ・職位階層別研修
- ・目標管理制度
- ・個人情報保護研修
- ・評価者研修

・管理業務を適切に行うため、人形劇、舞台、照明、音響に係る専門職員をはじめ、管理に係る職員を適正に配置し、組織を確立した運営を行った。

・職員として専門性を高めるため、児童文化関連施設や各種事業・研修会に職員を派遣し、職員一人ひとりが創造者として利用者に関わるべく多様な場で研鑽に努めた。施設利用者のニーズに応える市民サービスの向上につながったといえる。

・職員の学び合いの場として、想像力や協力する力を育む人形劇創作(人形劇ゼミナール研修)や、子どもの健全育成の実践研修(こどものまなび塾)を通し、子どもたちの体験・表現活動への理解とスキル向上につながり、職員育成の場として非常に有効な機会となった。

・今期の指定管理業務の事業の柱の一つに掲げた「ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)」機能を有した事業として、文化庁からの事業受託の実践に伴い、関係者・団体と協働での新たな取組と研修の場の設定により学びを深められた意義は大きい。職員としての意識向上と、人材育成の両面から成果に結びつけることができた。

・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員の資質向上を目指した研修を実施した。

(5)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

- ・職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。
- ・職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。
- ・法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出を行った。
- ・職員の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に加入した。また、必要に応じて適正に届出等を行った。
- ・常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。
- ・正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。
- ・労災保険加入と、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。
- ・法人として全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。

・労働関係法令に関する理解を深めると共に、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。

(6)管理水準の維持向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・財団ネットワークシステムを活用した情報共有や都度ごとの担当者会議、定例的な職員会議を実施し、管理水準の向上に努めた。 ・日常業務のブラッシュアップを行い、業務効率の向上を図った。また、施設点検による安全面の確認を随時行った。 ・職員によるプロジェクトを組織し、職員一人ひとりが業務の質を上げ、先見的な方向性を打ち出せる人材の育成を目指した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財団内の他部門との情報共有や協働実施を行い、より質の高い事業展開に結びつけることができた。 															
(7)第三者に対する委託の方針	<p>第三者に対する委託業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記の業務について、第三者に対する業務委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。 <table border="1" data-bbox="352 421 1098 584"> <thead> <tr> <th>業務名</th> <th>契約業者名</th> <th>実施月</th> <th>契約方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務</td> <td>株式会社池下電設</td> <td>3月</td> <td>随意契約(特命)</td> </tr> </tbody> </table>	業務名	契約業者名	実施月	契約方法	1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務	株式会社池下電設	3月	随意契約(特命)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の良好な維持管理のため、年1回の舞台設備保守点検業務を実施した。 							
業務名	契約業者名	実施月	契約方法														
1 舞台設備(吊物・照明・音響)保守点検業務	株式会社池下電設	3月	随意契約(特命)														
(8)札幌市及び関係機関との連絡調整等	<table border="1" data-bbox="352 651 1098 1541"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営協議会(第1回)</td> <td>11月7日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について </td> </tr> <tr> <td>運営協議会(第2回)</td> <td>3月15日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(下半期) ・セルフモニタリング報告(下半期) ・令和6年度の事業展開や運営について </td> </tr> <tr> <td>業務・財務検査</td> <td>3月5日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 </td> </tr> <tr> <td>利用者説明会</td> <td>3月13日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座・中島連携事業報告 ・こぐま座事業報告 ・劇団育成支援事業について ・各劇団からの近況報告 ・公演スケジュール調整について </td> </tr> </tbody> </table> <p><協議会メンバー>人形劇団代表、児童劇団代表、やまびこ座読み語りの会代表、元北星学園大学文学部教授、やまびこ座地域の青少年健全育成委員会会長、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長</p>	開催回	開催日	協議・報告内容	運営協議会(第1回)	11月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について 	運営協議会(第2回)	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(下半期) ・セルフモニタリング報告(下半期) ・令和6年度の事業展開や運営について 	業務・財務検査	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 	利用者説明会	3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座・中島連携事業報告 ・こぐま座事業報告 ・劇団育成支援事業について ・各劇団からの近況報告 ・公演スケジュール調整について 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会を設置し、委員へ事業実施状況等の報告を行い、施設運営についての意見交換を行った。 ・札幌市による業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。 ・利用者説明会では、劇団活動の活性化や、公演事業の集客等について意見交換を行い、次年度の劇場運営に向けての参考とした。
開催回	開催日	協議・報告内容															
運営協議会(第1回)	11月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・今後の事業展開や施設運営について 															
運営協議会(第2回)	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業報告(下半期) ・セルフモニタリング報告(下半期) ・令和6年度の事業展開や運営について 															
業務・財務検査	3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・業務検査 ・財務検査 															
利用者説明会	3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座・中島連携事業報告 ・こぐま座事業報告 ・劇団育成支援事業について ・各劇団からの近況報告 ・公演スケジュール調整について 															
(9)財務(資金管理、現金の適正管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施した。 ・金銭等の取扱いについては、当財団が定める処務規定及び財務規程、金券等取扱要領に基づき、適正に経理事務を行った。 ・当財団における内部監査の実施や、公認会計士による外部監査を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現金の取扱いについて、複数職員による確認を行い、金銭事故防止に努めた。 															
(10)要望・苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「迅速・適切・真摯・平等」で「利用者の立場に立つ」対応を心がけた。 ・意見箱を設置し、日常的に市民の声を聞くことができる環境を整えた。 ・ご意見・ご要望については職員会議にかけ、迅速に対応した。(令和5年度については、意見箱への要望・苦情は無し。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱へご意見や苦情を受けた場合、職員間で内容を共有して原因分析を即座に行い、苦情の低減に努めるよう体制を整えて備えた。 															
(11)記録・モニタリング・報告・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に関する記録、帳簿等の整備、記録保管に努めている。(業務日誌、設備点検記録、事業記録、経理書類、現金出納簿など) ・劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。 ※アンケート調査結果の詳細は「2 アンケートのまとめ」参照 	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフモニタリングにより自己評価を行い、今後の事業運営につなげた。 ・アンケートで「総合満足度」「接遇」に高い評価をいただいたことは成果だといえる。今後も市民サービスの向上に努める。 															

3. 施設、設備の維持に関する管理

(1)維持管理業

・利用者等の安全確保を第一に優先し、市民サービスの向上を図った。また維持管理計画の下、日常点検を行い対応を図った。

① 清掃業務

	区分	実施状況	実施日
1	定期清掃	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の第三者委託業務により実施した。 契約業者: 太洋美装(株)	通 年
2	日常清掃	職員で対応した。また、公演時には劇団の協力を得て実施した。	通 年

② 警備業務

	実施状況	実施日
1	中島児童会館と複合施設であるため、中島児童会館の第三者委託業務により実施した。 契約業者: 北陽警備保障(株)	通 年

③ 修繕工事の実施状況

	修 繕 内 容	修繕日
1	こぐま座MDデッキ修繕	4月7日
2	こぐま座ホール入口の窓サッシハンドル修繕	4月11日
3	こぐま座搬入口扉施錠器具取替交換修繕	5月11日
4	こぐま座ホール下手エアコン配管の水漏れ修繕	7月28日
5	こぐま座MDデッキローディング部品交換修繕	8月29日

④ 備品管理

《購入備品》

	物品名 (帰属)	数量	購入年月日	金額
1	電子レジスター(協会)	1	9月22日	¥53,900
2	ワイヤレスマイク(協会)	1	3月28日	¥62,700
3	ワイヤレスマイク(協会)	1	3月28日	¥36,850
4	ラインミキサー(協会)	1	3月28日	¥18,150
5	ラックケース(協会)	1	3月28日	¥34,100
6	ラックケース(協会)	1	3月28日	¥28,600
7	パワードスピーカー(協会)	2	3月28日	¥88,000
8	スピーカースタンド・ケース付(協会)	1	3月28日	¥27,500
9	オーディオプレーヤー(協会)	1	3月28日	¥157,850

⑤ 駐車場管理

・劇団等の施設利用者に対して車両進入許可証を発行し、公園内での事故等に十分注意し、関係者以外の進入を防ぐよう努めた。

⑥ 外構緑地管理、除雪作業

・敷地内の植木、除雪については、美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、適切な維持管理を行った。

・日常的に施設及び設備について機能全般の良好な維持に努め、市民が利用しやすい施設運営を行った。

・日頃より館内の見回り、点検を行い、破損や故障等は、速やかに報告・修理した。

・市民の利用に支障がないよう、施設内の設備や使用機器類の日常点検や清掃等を行った。

・管理業務及び事業運営にあたり、新規に備品を購入し、利用者の利便の向上に努めた。

・駐車場を利用する劇団利用者に対し、安全確認および注意を促すことで、公園内の安全確保に努めた。

・中島児童会館及び中島公園管理事務所と連携し、日頃より適切な維持管理を行った。

(2)防災業務

① 防災計画と組織

・防災計画を定め、自衛消防組織を設置し、有事の際の迅速な対応に備えた。

② 防災訓練の実施

・中島児童会館と合同の防災計画・緊急連絡体制を定めた。
避難訓練実施

①8月18日(参加人数31名) ②12月6日(参加人数25名)

③ 状況に応じた情報収集及び事故発生時の対応

・関係機関からの情報収集と館内利用者への正しい情報提供に備え、事故対応に努めている。

・事故防止に備えた日常的な訓練等による危機管理体制を整え、賠償保険にも加入し不測の事態に備えた。

・災害や利用者の傷病に対する対応については、常日頃より気を配り、突発的な事態にも対応できるよう事前の準備を心がけた。

4. 事業の計画及び実施に関する業務

(1)児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務

・令和5年度は、共生社会実現の観点から社会的包摂機能推進の事業をスタートし、文化芸術が果たす劇場の未来ビジョン実現に向けてさまざまなプログラムを展開した。劇場、養護学校、特別支援学級での文化鑑賞、舞台創造の機会の創出、手話通訳を取り入れた作品作り等、障がい児の文化芸術活動を支援する場を積極的に取り入れた。事業を通して、障がいの有無に関わらず一人ひとりが個性を発揮できる場を創り出し、多様な他者と出会い関わりを経験することによって、「社会とのつながり」を創出することができた。共に手を携え支え合える関係を築くことで、あたたかな地域コミュニティを生み出すことにつながるものである。

・一方で助成金の一部不採択により、当初計画していた海外や北海道外の専門劇団の招致等が資金面で難しくなった事業もあった。社会変容を捉え、リサーチや戦略の検討が必要である。

・児童会館との協働事業を実施し、子どもたちの健全育成や職員育成モデルとして部門の強みを活かした実践を重ねることができた。

・根幹である劇団育成や人材発掘という面での取組がやや不足した。市民劇団が文化活動を継続できる環境、それに対応し創作活動を支える劇場職員の専門性、人と人をつなげ導く能力と方策が課題である。

【公演事業】

・やまびこ座の開館35周年を記念してさまざまな公演を企画し、やまびこ座とこぐま座で実施した。これまで両劇場の公演事業を支えてきた市民劇団の協力の元、多彩なプログラムを展開することができた。また、テレビやラジオ等のマスメディアにも取り上げられたことで、事業の集客にもつながった。

・文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業「パペットアートヴィレッジ」や外部団体との協働事業「舞台手話通訳者養成講座」の成果発表公演に、普段両劇場に来たことがなかった市民が足を運び、観劇を楽しんだ。

【講座事業】

・人材育成事業「初心者のための人形劇講座」で2劇団、財団内の職員研修「人形劇ゼミナール」から新たに2劇団が誕生した。どの劇団も、講座等終了後も劇場の主催事業や自分たちの職場で演目を披露するなど、今後の自立した公演活動の基盤を築いていた。

・「経験者のための人形劇クリニック」には4劇団が参加し、2月に発表公演を行った。自立した劇団活動を行い、良質な作品づくりに取り組める力をつけられるように支援した。

【子どもの舞台表現活動の推進】

・こぐま座、やまびこ座と札幌市内の児童会館が連携し、「児童会館人形劇クラブ活動」への指導を継続して行ってきた。令和5年度は6館の児童会館で人形劇クラブの活動が行われ、劇場職員と市民劇団が児童会館へ指導にあたった。また、国際人形劇連盟（UNIMA）が定める『世界人形劇の日（3月21日）』に合わせて『世界人形劇の日こどもフェスティバル札幌市児童会館』を実施し、児童会館人形劇クラブの子どもたちによる人形劇の連続公演や交流会を行った。子どもたちのいきいきとした姿や表現の可能性を広く発信する機会とし、これまでの取組から一歩進み、より広がりを持った事業展開をすることができた。

・やまびこ座の開館35周年記念事業として「北のおばけ箱2」公演を行った。児童デイサービスに通う子どもたちとやまびこ座・こぐま座で育成してきた子どもたちが共に出演し、劇中に手話通訳者が手話をしながら演じる「ムーブアラウンド方式」を取り入れたユニバーサルな舞台を披露することができた。やまびこ座・こぐま座が関わってきた子どもたちの成長が表れた舞台となり、観客に感動を与える事業となった。また、札幌市内の児童会館の子どもたちを招待して貸切公演も行い、多くの子どもたちが観劇を楽しんだ。

・文化芸術が人々に与える影響の大きさや重要性、子どものための文化施設としての役割を改めて認識することができた。今後も、劇場が市民にとって身近で日常的に利用できる環境で、さまざまな体験の場が設定されるように取組を続け、文化芸術活動を通して誰もが創造者として参加できる社会の実現に寄与していく。

・今年度は劇場の未来ビジョン実現に向けた足がかりができた。次年度も取組を継続し、こうした取組を市民に広く発信することで、理解者や支援者の拡大と持続可能な事業展開につなげる。

・次世代の担い手の確保を含む人材育成や職員の資質向上等、課題の洗い出しと対応する取組が引き続き必要である。

・劇場が示す「共生社会の実現」など、未来ビジョン実現に向け、今後も関係団体と協働しながら多彩な公演事業を展開していく。また、多彩なプログラムを展開して潜在層を掘り起こし、持続可能な劇場運営につなげていく。

・これまで培ってきた人形劇等における人材育成のノウハウを生かし、若い世代が指導者として次世代への育成を担う流れをつくり、劇場の持続可能な事業展開を進めていく。

・人材育成のための講座や講習会はやまびこ座・こぐま座の根幹を支える最も重要な事業であることから、事業参加者や劇団に対する的確な支援を継続して行うことが必要である。

・劇場が取り組んできた人形劇の裾野拡大、人材育成の成果を発揮することができた。

・市民と共につくる劇場、地域に根差した劇場運営の観点から、一定の成果が表れていると捉え今後もこの取組を継続強化していく。

【ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の機能を有した文化芸術事業の拡充】

・舞台表現プログラム「パペットアートヴィレッジ」では、障がいがある子どもとない子ども、さまざまな年代の市民が参加して「共に創りあげること」を意識して事業を展開した。人形劇を中心に音楽、ダンス、工作、野外活動といった「あそび」とおして、子どもたちから沸き出る意欲を大切にすること、さまざまな特性のある子どもたちが伸び伸びと安心して参加できる関係づくりを目指した。最終回では、大勢の観客の前で活動の成果を発表する公演を12月に実施した。子どもたちの一生懸命だからこそ溢れ出る達成感に満ちた笑顔、観客へ生きるエネルギーとして届けられたことは大きな成果であった。

・さらに一歩踏み込んだ取組として、舞台手話通訳者の養成講座を外部団体と協働で開講し、12月に発表公演を実施した。海外では一般的なサポートとして日常的に組み込まれている「舞台手話通訳」は、日本ではまだ馴染みが浅いのが現状であり、いち早くこの分野に着手できたのは日本の舞台表現活動の中では先進的な取組みであった。健聴者も聴覚障害者も一緒に楽しめる良質の作品観劇を「日常」にできるよう次年度以降も取組を進めていく。

・人形劇鑑賞等、養護学校、特別支援学級での文化体験ワークショップをはじめ、貧困やさまざまな家庭の事情により劇場に足を運べない子どもたちにも観劇の機会を提供するため、巡回公演や貸切公演、各種ワークショップを実施した。

【地域との共生および関係機関との連携】

・中島児童会館と合同で7月に開館記念事業として「かもくま祭×あそびのフェスティバル」を実施した。全市児童会館・豊水・西創成・曙地区民生委員児童委員協議会、主任児童委員、パークホテル等の地域団体と実行委員会を立ち上げ、協働で実施した。

・劇場の機能やノウハウを生かし、地域に向けてアウトリーチ事業を行った。資生館小学校では人形劇づくりと幼稚園の園児を対象に人形劇を発表した。真駒内養護学校の生徒に対し、体験会や人形劇観劇を行った。

・劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化を目的とする「事業サポーター制度」を実施し、11件の個人協賛と3件の企業協賛を得ることができた。

【社会貢献事業の取組】

・東日本大震災以降、さまざまな事業を通してつながってきた協力団体と連携し、北海道内外で文化芸術活動を支援する「広域文化支援ネットワーク形成事業」を実施した。

9月厚真町(中学演劇発表公演への審査員紹介・派遣)

9月ニセコ町(人形劇イベントへの劇団派遣・舞台スタッフ派遣)

9～3月福島県(人形浄瑠璃ワークショップ)

2～3月福島県(人形劇出張公演、能登半島地震チャリティイベントの開催)

【展示室の活用およびその他】

・展示室の活用により、絵画展や紙芝居展等の特別展示、子どもたちの作品展示、ボランティアによる読み聞かせ事業「おはなしの会」等の実施した。市民や観光客にも、気軽に足を運んでもらえる企画を行ったことで、施設の新規利用者獲得やイメージアップをする機会となった。

※企画展示年4回、ワークショップ3回、おはなしの会年20回実施した。

やまびこ座と共同で人形劇観劇スタンプラリーを実施した。

(カード発行枚数: 7,060枚 ※やまびこ座3,843枚、こぐま座3,217枚)

【中島児童会館との一体運営の取組】

・札幌の子ども文化の発信基地として、人材育成や文化体験機会を拡充するための発展的な事業展開(「まなび塾」「こども文化セミナー」、「企画展」「子ども向けワークショップ」等)を目指した。また、札幌の子ども文化を考える情報誌「MA・SO・BO通信(年6回)」の発行を行った。

※事業実績 別紙業務報告書参照

・事業を展開することによって、文化芸術がもたらす効果、差別や偏見等の垣根を取り払う意識上のバリアフリーの力を実感することができた。関わる市民の輪をひろげ、これらの取組を広く発信することで、理解者や支援者の拡大と持続可能な事業実施につなげたい。

・SDGsの達成に向け日本でもさまざまな取組が行われている影響もあり、手話に対する注目が高まっている。単なる通訳としてではなく、舞台表現の一部として役者のセリフや効果音などを舞台上から手話で客席に届けるという高度な技術と表現力が必要な舞台手話通訳者を育成する講座は、今後のやまびこ座・こぐま座の事業を支える貴重な人材の発掘にもつながる機会であったといえる。

・今後も地域の特性を生かして様々な外部団体や関係機関と協働で事業を展開していく。また、地域の文化拠点として、劇場の機能やノウハウを生かした事業を行い、地域の子どもの健全育成に役立てていく。

・今後も子どもたちの健やかな成長を文化的視点から守り支援していくため、新たな協力団体や関係機関とつながり、ネットワークを拡げていくことで個々の力だけでは成し得ない課題解決や新たな事業展開につなげていく。

・展示の入れ替え、MA・SO・BO通信の発行、専門書の貸出等、利用者獲得のための取組を行い、利用者を惹きつける戦略を推し進めた。

ア 利用状況実績

観劇者数	無料	1,771 人
	招待	360 人
	有料	6,851 人
	合計 (a)	8,982 人
出演者数(含むリハーサル) (b)		1,911 人
研修・見学者等の数 (c)		21,942 人
総数 (a+b+c)		32,835 人
上演回数		200 回
上演日数		135 日
仕込み・リハーサル・研修日数		220 日
上演1回あたりの観客数		44.9 人

利用人数 (前年度 24,851人・前年比132%)

イ 事業実績 別紙業報告書参照

・令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられたことを受け、新型コロナウイルス感染拡大防止予防ガイドラインが廃止された。新型コロナウイルス感染症流行前の実績までは戻ってはいないが、劇場を利用する市民は前年度より増えた。今後も市民が再び劇場へ足を運びたいような魅力的な公演や事業を実施し、観劇の機運を高めていく。

・劇場を利用する劇団からも、さまざまな制限がなくなったことへの安堵と今後の公演や事業での集客に期待する声が聞かれた。

(2)子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

・関係機関の情報収集を行い、資料の整理を随時行った。市民からの要望に応じ、情報提供できる体制を整えた。
・札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や全国の公立劇場、児童文化活動の調査に協力し、調査結果を共有して分析を行った。広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努めた。

・調査に協力する中で、やまびこ座やこぐま座で人形劇創作活動を行っている劇団や子どもたちの活躍を、さまざまな形で発信することができ、両劇場のPRにもつながった。

(3)劇団育成支援に関する業務

・劇団支援策として「札幌市こども人形劇場こぐま座支援事業」を実施した。(各劇団の中島児童会館占用利用について、使用料の一部を負担する)
※申請件数32件
・運営協議会、利用者説明会、利用者アンケートを実施した。利用者(劇団)側からの様々な要望を聞くことができた。
・市民ボランティア登録:20名(スタンプリーゆび人形制作(12名)、資料室MA・SO・BOおはなしの会(8名)、イベント等の事業運営スタッフとして活躍した。)
・各劇団、ボランティアが劇場を通して交流する機会を提供した。
①GWイベント(5月)
②開館記念祭「かもくま祭」(7月)
③札幌人形劇祭(11月)※やまびこ座と協働で実施
④MA・SO・BOカーニバル(1月)
⑤利用者説明会(3月)

・劇団の育成のため、今後も継続して支援活動に取り組んでいく。

・運営協議会、利用者説明会、利用者アンケート等を実施し、劇団側に十分な説明や意見交換を行うことで、施設の利用と協力体制を強化することができた。

・市民ボランティアとの協働事業は、職員がボランティア間の橋渡し役となり、明るくやりがいのある事業となるよう努めた。

(4)人形劇等に関する指導、相談業務

・人形劇の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇について、指導、助言ができる体制づくりに努めた。公演時や稽古時等において、適宜アドバイスを行い、劇団側と協働してより良い作品づくりを行った。また、初心者のための人形劇講座を実施し、より多くの市民の方々子ども文化に携わり、担い手として育ていけるように環境を整えた。

・利用者にとって丁寧にかかわることが制作活動の支援となっている。今後も劇団に対し、上演や作品創造に関するアドバイス、サポートをしていくために指導者、舞台スタッフの育成に取り組む。

・人材育成事業等の広いニーズに臨機応変に対応できるよう、さまざまな関係機関と連携して人材発掘に努める。

(5)その他	<p>特別事業の実施実績</p> <p>①やまびこ座35周年記念事業:やまびこ座・こぐま座協働事業(7月26日～8月20日)「夏の特別公演」「さっぽろパペットシアタープロジェクト」「おそとでにんぎょうげき場」「人形劇☆大集合」等 1988年に開館したやまびこ座の35周年記念事業を実施した。札幌市内のアマチュア劇団による企画公演、北海道内外の専門人形劇による特別公演、ソーシャルインクルージョンの視点に立ち障がい等の有無に関わらず文化芸術を享受できる未来社会の創造を示唆する公演等を実施した。地域の文化拠点としてのこれからの劇場の在り方を示し、札幌の芸術文化活動の未来を感じることできる35周年にふさわしい事業となった。また、やまびこ座・こぐま座のこれまでの人材育成の成果や取組を広くPRすることができた。</p> <p>②さっぽろパペットシアタープロジェクト「北のおぼけ箱2」(やまびこ座・こぐま座協働事業(8月10日～11日))</p> <p>やまびこ座・こぐま座の人材育成事業に参加する小学生から社会人までの人形劇、演劇のメンバーに加え、関係機関の協力を得て障がいのある子どもたちも出演した。関係団体の協力や、これまで築いてきた子どもたちとの関係性、保護者の理解、子どもから大人まで出演者の性質を最大限に生かす柔軟な演出等があり、観劇に来られた市民から高い評価を得ることができた。また、共に舞台を創りあげたという達成感、充実感が参加者やスタッフからも感じられた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌の子ども文化の可能性を内外に発信する機会とし、劇場が担ってきた役割を市民とともに今一度共有する機会となった。 ・文化芸術活動を通して社会課題にアプローチしていくことは、劇場の一つの使命でもあり、今後もさまざまな人たちが文化芸術を享受し参加できる機会を提供していく。 ・市民や社会のニーズに応えつつ、良質な作品づくりを行うことで、やまびこ座・こぐま座の取組として、文化の街・札幌を広くPRしたい。
--------	--	--

5. 施設の利用等に関する業務

(1)貸館業務計画	<p>① 受付カウンター業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用にあたっては、札幌市子ども劇場条例及び札幌市子ども劇場条例施行規則に基づき、申込受付を行った。施設利用者は、「札幌市子ども人形劇場使用承認申請書」に記入の上、提出する。 ・受付時間:午前8時45分～午後5時15分 ・ホール使用にあたっては、3カ月前の1日から受付を行い、電話での仮申込も可とした。 ・各劇団の中島児童会館夜間占用利用については、こぐま座の自主事業『札幌市子ども人形劇場こぐま座支援事業』として使用料の一部負担する。利用申込については、中島児童会館と協議の上、申請手続きを定め、申請様式を作成して実施した。 ・利用台帳を作成し、利用の調整を随時行った。 <p>② 施設の案内及び説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演時の観客対応、劇団の施設使用時、日常の来館時の問い合わせ、電話対応などにおいて、施設、公演など案内及び説明を行った。 <p>《令和5年度施設見学実績》</p> <table border="0"> <tr> <td>5月19日</td> <td>資生館小学校4年生</td> <td>81名</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>山鼻小学校3年生</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>8月31日</td> <td>真駒内養護学校</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>10月17日</td> <td>東かがわ市市議会</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>2月29日</td> <td>石巻市子どもセンターらいつ</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>③ 備付物件の貸出と管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演のリハーサル、準備、本番時において、劇団への備付物件の貸出を行った。また、使用後の確認及び点検を行った。 	5月19日	資生館小学校4年生	81名	7月7日	山鼻小学校3年生	20名	8月31日	真駒内養護学校	17名	10月17日	東かがわ市市議会	5名	2月29日	石巻市子どもセンターらいつ	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申込受付については、条例に基づき、適正に処理を行った。特に問題はなかった。 ・こぐま座支援事業については、事務フローを作成し、適正に処理を行った。 ・施設の歴史と経緯、年間の公演数等について、丁寧な説明を行った。 ・日常的に物品を点検確認し、利用者の使用に支障が生じないようにした。
5月19日	資生館小学校4年生	81名															
7月7日	山鼻小学校3年生	20名															
8月31日	真駒内養護学校	17名															
10月17日	東かがわ市市議会	5名															
2月29日	石巻市子どもセンターらいつ	1名															
(2)使用承認等に関する業務	<p>① 子ども人形劇場の使用申込の受付及び使用の承認、不承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設使用承認にあたっては、札幌市子ども劇場条例及び札幌市子ども劇場条例施行規則に基づく。提出された「札幌市子ども人形劇場使用承認申請書」を精査の上、承認する。その際に「札幌市子ども人形劇場使用承認書」を発行する。 ・不承認について該当事例なし。 <p>② 施設使用に当たって、特別の設備を設け、又は特殊な物件を搬入しようとするときの当該行為の承認、不承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 <p>③ 使用承認等の条件の変更、施設の使用の停止命令又は使用承認等の取り消し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当事例なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用承認については、条例に基づき、適正に処理を行った。 ・該当事例なし。 ・該当事例なし。 															

- ④ 利用料金の徴収事務
 - ・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、劇場使用料の徴収事務を行う。使用料については、下表のとおり。
 - ・利用者総数、上演日数及び上演回数については、目標を達成することができた。利用料金については計画時の見込通りとなった。

単 位		使 用 料
1回の公演につき	同一のプログラムによる上演が1回の場合	入場料等の総額の5%に相当する額
	同一のプログラムによる上演が2回以上の場合	入場料等の総額の10%に相当する額

※令和5年度利用料金収入総額…251,020円

- ⑤ 利用料金の減額若しくは免除又は還付に関する事務
 - ・該当事例なし。
- ⑥ 入場の制限その他施設の秩序維持に関する事務
 - ・該当事例なし。

・劇場使用料の徴収事務については、条例に基づき、適正に処理を行った。

・該当事例なし。

・該当事例なし。

6. 管理業務に付随する業務

(1) 広報業務

・よりわかりやすいホームページURL (<https://koguyama.jp>) にするために独自ドメインを取得している。また、ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページを目指して運営を行った。令和5年度のホームページアクセス数は306,473件、月平均25,540件、一日の平均840件であった。

・公式SNS(Twitter、Facebook、Instagram)や通信アプリLINEによる公演情報の発信を積極的に行い、利用者の利便性向上と集客につなげることができた。

・定期的に(年6回)こどもの劇場通信(公演情報、事業案内等)、MA・SO・BO通信(子ども文化の発信)をやまびこ座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校5校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。

・公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、地下鉄駅や劇場館内への掲示を行い周知を図った。

・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」(市内全小学生配布)に、公演情報を毎号掲載した(年6回各10万部発行)。

・広報業務は、劇場の認知度向上と観客数に直結する重要なものであるとの認識のもと、常に情報発信を行った。令和5年度もSNS等を活用し、公演情報や事業案内の発信を適宜行い、集客につなげることができた。

・札幌市内だけではなく、北海道内の幼稚園や保育園等からの団体観劇に係る問い合わせが増えてきている。今後の施設利用にもつながることから、案内リーフレットを作成して、積極的に劇場での団体観劇をPRしていきたい。

(2) 施設ホームページのウェブアクセシビリティの確保

・札幌市公式ホームページウェブアクセシビリティの方針に準じて、アクセシビリティの維持・向上に努め、ホームページの更新を行った。

・ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページを作成した。

(3) 引継ぎ業務

・第4期から継続して指定管理業務を行っているため、引継業務なし

7. 札幌市内の企業等の活用について

(1) 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

・第三者に対する業務委託、物品の調達等を行うにあたり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。

8. その他

(1)自主事業の実施	<p>《物品販売事業》 市民サービスの一環として、マスコット人形や人形劇キット、手づくりおもちゃ、オリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助、リピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図る。 実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 販売商品： ①ハンドパペット 金額：150円～800円 ②オリジナルグッズ(こぐまちゃんラバーストラップ、ピンバッジ等) 金額：50円～1,785円</p> <p>【販売実績】 ①ハンドパペット：販売個数 76個 売上額 51,200円 ②オリジナルグッズ：販売個数 445個 売上額 92,350円 合計：販売個数 521 売上額 143,550円</p>	<p>・市民サービスの一環として物品販売を実施した。来場者に喜ばれる新たな商品開発により、公演後に観劇の記念として購入する来場者が多かった。 今後も、劇場の親しみやすさを高め、リピーターの増加につながるような物品の販売を行う。</p>
(2)改修工事・大規模修繕について	<p>・札幌市こども人形劇場こぐま座 屋外階段修繕(札幌市発注)11月</p>	
(3)映画等の撮影の申し出を受けた場合の対応	<p>・該当事例なし。</p>	

2 アンケートのまとめ

1. 実施目的	<p>施設利用者に対してアンケートを実施し、利用者の満足度や市民からの要望、意見を集約していくことで、業務を振り返り、業務の改善に反映させるよう努める。</p>
2. 実施内容及び実施方法	<p>観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、実施。</p> <p>① 観客用アンケート 各公演時において、来館した観劇者に対しアンケートを配布。公演の周知方法、これまでの来館数等の回答者についての設問や劇場の設備について、職員の対応等の設問、また具体的なお芝居の感想に対し、回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p> <p>② 利用者(劇団)アンケート 劇場を利用する劇団に対し、アンケートを実施。普段、劇団の活動で劇場を利用するに当たり、劇場の使いやすさや職員の対応といったソフト面とハード面の両面について回答していただいた。実際にお芝居を創っていく上での環境、職員の支援体制、劇場の設備について、職員の対応等に対する設問。記名方式(劇団名、氏名 無記入可)。</p> <p>③ 事業参加者アンケート 事業参加者(受講者)に対し、各事業ごとの終了後にアンケートを実施。事業プログラム内容や講師、担当職員の対応、施設の使いやすさ等について回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p>

3. アンケート結果

	観客用アンケート	利用者(劇団)アンケート	事業参加者アンケート				
			初心者のための人形劇講座	こぐま座こども人形劇団	パペットカレッジ	パペットユーススクール	文化セミナー(長野ヒデ子)
① 実施期間	4月1日～3月31日	4月1日～3月31日	4月20日～7月16日	5月24日～3月3日	6月27日～2月25日	6月27日～2月24日	9月23日
② アンケート回収枚数(枚)	1,561	23	6	13	7	12	26
③ 職員の対応、説明(点)	4.6	4.8	5.0	4.5	5.0	4.9	4.6
④ 劇場の設備(点)	4.3	4.3	4.7	4.3	4.9	4.8	4.0
⑤ 観劇のマナー(点)	4.4						
⑥ 芝居づくりの上での施設環境整備(点)		4.6					
⑦ 芝居づくりの上での劇場サポート(点)		4.7					
⑧ 利用申込、手続きの仕方(点)		4.4					
⑨ 事業プログラム内容(点)			4.8	4.5	5.0	4.9	4.9
⑩ 講師について(点)			5.0	4.9	5.0	4.9	4.9

	事業参加者アンケート						計
	まなび塾	ワークショップ (長野ヒデ子)	経験者 クリニック	ワーク ショップ (かとう まふみ)	指人形制 作ポラン ティア	文化庁委 託事業「パ ベットアート ヴィレッジ」	
① 実施期間	10月5日 ～ 1月25日	9月23日	8月23日 ～ 3月6日	3月9日	4月1日 ～ 3月31日	7月8日 ～ 12月17 日	
② アンケート回収枚数(枚)	17	8	6	7	9	53	164
③ 職員の対応、説明(点)	4.6	4.9	4.5	4.9	4.8	4.5	4.7
④ 劇場の設備(点)		4.8	4.7	4.3	4.9		4.1
⑤ 観劇のマナー(点)							
⑥ 芝居づくりの上での施設 の環境整備(点)							
⑦ 芝居づくりの上での劇場 のサポート(点)							
⑧ 利用申込、手続きの仕方 (点)							
⑨ 事業プログラム内容(点)	4.6	4.9	4.7	4.9	4.8	4.5	4.8
⑩ 講師について(点)	4.7	5.0	4.8	4.9	5.0	4.5	4.9

4. 評価及び考察

①観客用アンケート

回収枚数: 1,561枚

・職員の対応について…「案内が丁寧でスムーズだった」「初めて来場したが親切に施設を案内してくれた」等の意見を多くいただいた。引き続き、来場者に高い評価をいただける接客対応に努めていく。
 ・設備について…「古い建物だが、きれい」「昭和レトロ感を維持して欲しい」等の意見をいただいた。車いす利用者や高齢者からは、「スロープがあると入りやすい」「大人には狭く足の置く場所がない」との意見もあった。
 ・環境について…「段差があり、子どもがステージを見やすい」「座布団があって良かった」「ステージとの距離が近く、人形が見やすかった」「目の前に公園があるので、始まるまで遊べるのが良かった」「地下鉄から近く初めてでも迷わなかった」等の意見があった。

②利用者(劇団)アンケート

回収枚数: 23枚(劇団)

・支援体制について…施設的环境では「音響・照明の設備が使いやすく、素晴らしい」、職員のサポートでは「迅速に対応してくれ」「演出や照明に感謝している」など好意的な意見をいただいた。
 ・施設サービスについて…「特に不満はない」の他、「広いトイレがもう一つあると良い」などの意見をいただいた。
 ・職員について…「明るく笑顔で対応してくれる」「対応がいつもやさしい」「アドバイスをしてくれる」等の意見をいただいた。今後も劇団との信頼関係構築に努め、市民参加型の劇場運営を進めていく。

③事業別参加者アンケート

・主催事業11事業: 164名

・事業内容について…どの事業に対しても、好意的な意見が数多く、「プログラム内容が良かった」「勉強になった」「講師の方とお話が出来て嬉しかった」など高評価が得られた。今後も参加者のニーズを取り入れ、より満足を得られるよう事業内容の充実を図る。

5. 全体を通して

観客・利用者(劇団)・事業参加者アンケート共に、「とても良い」「良い」が過半数を占めており、多くの利用者に満足いただいていることがわかった。

コロナ禍で長く続いた観客者数の制限や、感染対策等の規制が緩和されたことにより、昨年度までのアンケートで目立った、「寒かった」「暑かった」等の室内温度についての記述や、「入口が混み合う」などの意見については、ほぼ無くなった印象である。

「公演情報を何で知ったか」の問いでは、ホームページが多くを占め、劇場通信、友人・知人、SNSという回答の順であった。また、来場数については、「初めて」「2～5回」との回答が最も多く、ホームページのリニューアルや、情報の受取やすさ、内容のわかりやすさ、ターゲット層に情報が届いているか、初めて観劇した方々をリピーターとして次にどうつなげていくか等、広報戦略を練る上で参考にしたい。

一方、劇場の設備に対する記述回答の中には、客席の狭さや、バリアフリーに関するご意見も見られた。社会的包摂機能推進の事業を進める上でも、車椅子席スペース、歩道から出入口、ホールからトイレに移動できるスロープの確保等、誰もが無理なく公演や事業に参加しやすい環境整備を進めたいところである。時代や時勢に合わせた取組を迅速に行っていくと共に、より利用者に満足していただけるよう努めていきたい。

3 令和5年度管理業務総括

1. 総合評価

令和5年度は、やまびこ座が35周年を迎えた記念の年であった。人形劇場こぐま座も、市民劇団と手を携えて夏休みに記念事業を実施した。人形劇の連続公演や、落語や動物を題材にした公演など、多彩な企画で多くの方にご来場いただいた。演じ手も観客も皆が笑顔あふれる場となったのは、両劇場で築いてきた人材育成を根幹に据えた運営の賜物であり、改めてこの節目に劇場の取組と事業を発信できたことの意義は大きい。

その他、今年度事業の特徴的な取組として、事業の重点としている、共生社会実現に向けた事業のレベルアップが挙げられる。

文化庁から受託した「障害者等による文化芸術活動推進事業」のうち、「パペットアートヴィレッジ」を新規に実施した。「共に創りあげる」ことをテーマにした舞台表現活動プログラムに、障がいの有無にかかわらず、子どもを中心に様々な年代の方に参加いただいた。人形劇を中心に音楽、ダンス、工作、野外活動の要素を盛り込み、遊びをとおして子どもたちが発する言葉や気持ちに皆が寄り添い、多様な特性のある子どもたちが自分のペースで参加できる活動を重ねて舞台作品を創作し、多くの観客の前で演じることができた。また、養護学校や特別支援学級での人形劇鑑賞等の文化体験ワークショップをはじめ、さまざまな家庭の事情により劇場に足を運べない子どもたちにも観劇の機会を提供するため、巡回公演や貸切公演、各種ワークショップを実施した。

札幌演劇シーズン実行委員会と共催で、舞台手話通訳者の養成講座を実施した。令和3年度より当劇場で製作、上演に取り組んできた、障がい児童と創る人形劇「北のおばけ箱」で取り入れたムーブアラウンド形式の手話通訳が評価されたことをきっかけに企画され、海外では一般的なサポートとして普通に行われている舞台手話通訳であるが、日本ではまだ馴染みが浅く、その担い手を育成し健聴者も聴覚障がい者も一緒に楽しめる観劇が日常となるよう取組を進めた。共生社会実現に向けた文化芸術からのアプローチにより、誰もが舞台に触れられる社会の創造を目指した。

①数値実績

年間公演回数は目標200回に対して200回(達成率100%)、総利用者数は15,000人目標に対して32,835人(達成率218.9%)と達成したものの、ホール稼働率は目標80%に対して76.9%(達成率96.1%)とわずかに届かない結果となった。また、観客数で見ると、99.9%と微減しており伸び率が低い状況である。様々な要因と複合的な状況が考えられるものの、対象者に届く広報の手法や稼働率向上の方策を、時代に合わせていくことが喫緊の課題である。

②収支状況

助成金の一部不採択により見込んでいた収益には届かない結果となった。それに伴い、当初計画していた道外の専門劇団の招へい公演は内容変更を余儀なくされた。様々な工夫による経費縮減を図り、新規の事業受託による増収もあったが、結果としてマイナス決算となった。改めて劇場の役割を踏まえ、社会の求めに則した提案により安定的に事業費確保を行う。

2. 基本方針及び来年度以降の重点取組事項

基本方針

『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』

こども人形劇場は、「人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」(札幌市こども劇場条例)を目的として設置された施設である。全国的にも数少ない子どものための専門劇場として、「子ども文化」を育むことで生み出される人と人のつながりにより、こころ豊かな未来を描くことができる、地域の文化拠点を目指す。

こども人形劇場において子どもたちが文化芸術に触れることで情操豊かに育つことに加え、それを支える市民劇団を育成する中で醸成される地域コミュニティ創造を目指す事業を積極的に展開する。

市民に寄り添う人材育成を事業の根幹に据え、舞台創作を支える専門性に加え、人と人をつなげ導く能力の向上を目指す。「ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)」機能を有した事業展開のレベルアップと収益源の多様化について重点的に戦略立てて進める。

重点取組事項

(1) 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・講座等の実施

- ① 野外人形劇シリーズ
- ② 障がい児との文化芸術推進事業
- ③ 舞台手話通訳付人形劇レギュラー公演プロジェクト
- ④ 北海道の創作人形劇さっぽろパペットシアタープロジェクト「北のおばけ箱3」
- ⑤ 中島児童会館連携事業

(2) 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報の収集・調査研究・立案及び提供

- ① SNSを活用した広報

(3) 劇団支援に関する業務

- ① 依頼公演に対応する機材貸出

札幌市こども人形劇場こぐま座
令和5年度業務報告書

【事業実績】

(1)公演事業

区分	実施内容	実施日	ステージ数(回)	観客数(人)	備考
ア 一般公演	市内アマチュア人形劇団を中心に毎週土、日曜日、祝日、そして、学校休業期間(春、夏、冬休み)には平日も含め、人形劇等の公演を行った。	4/1～3/31	160	4,936	
イ 団体観劇	幼稚園、保育園等の園外活動の一環として、団体観劇を実施し、こぐま座を有効活用した。	9月5日・6日 10月6日・11日・12日 12月12日・20日	8	459	
ウ 新入学・入園おめでとう公演	新入学・新入園の方は無料ご招待とする人形劇公演を行った。	4/1～4/5	(5)	(306)	ステージ数/観客数は一般公演に計上
エ GW特別企画 パペットフェスティバル あそびの劇場こぐま姫を救え! in Nakajimaシティー	ゴールデンウィークに合わせて、人形劇団・パフォーマーによる公演と中島児童会館体育室で段ボール工作を行った。遊びの劇場は、3グループに別れ中島公園全体を使ったごっこ遊びを展開した。	5/3～5/5	5	229	
オ あおぞらキッズシアター	昼間帯の屋外公演を企画し実施した。人形劇やマジック、腹話術などの公演を実施した。	6/3～6/4 8/1～8/2	4	240	
カ かもくま祭× あそびのフェスティバル	公立として全国初の児童会館に併設された人形劇専門劇場が誕生して47年が経ったことをお祝いするとともに、2施設が併設されている歴史的価値を市民へ伝える機会として様々な遊びのコーナーや屋外ステージでの公演を実施した。また、施設の特徴を生かし、豊水・西創成・曙地区民生委員児童委員協議会、パークホテル、中島公園管理事務所等と協働で実施した。	7/1～7/2	3	686	
キ 札幌市こどもの劇場 やまびこ座開館35周年記念事業 ～みんなの笑顔でいっぱい! やまびこ座おめでとう♪～	やまびこ座開館35周年記念事業のプレ公演として、普段あまり観ることのできない北海道外の専門人形劇団(茶間屋ショーゴ/静岡県)の公演を実施した。より多くの市民に良質の人形劇を楽しんでいただくことができた。	7/8	2	90	
ク こぐまちゃんもお祝い! やまびこ座35周年おめでとう公演 ベテラン劇団競演	やまびこ座開館35周年を記念し、両劇場で活躍する市民劇団による連続公演を行った。7/26～7/27はベテランの2劇団が公演した。	7/26～7/27	(3)	(153)	ステージ数/観客数は一般公演に計上
ケ こぐまちゃんもお祝い! やまびこ座35周年おめでとう公演 仔熊夜会	やまびこ座開館35周年を記念し、両劇場で活躍する市民劇団による連続公演を行った。7/28は4劇団が夜間帯の公演を実施した。幅広い年代の観客が来場し、人形劇を楽しんだ。	7/28	(1)	(50)	ステージ数/観客数は一般公演に計上
コ あおぞらピクニックシアター	自然豊かな中島公園のフィールドを活かし、ピクニックしながらゆっくりとお芝居を楽しむ企画を実施した。様々なパフォーマーが繰り広げる楽しい人形劇や、遊びの仕掛けなどを随所に仕掛け、一日を通して参加者が楽しめる内容にできた。多くの市民の目に触れることで劇場のPRも兼ねることができた。	9/2～9/3	8	395	
サ 障害児等による文化芸術 活動推進事業 文化の扉をひらこう! パペットアートヴィレッジPresents 「おたのしみクリスマス会」 inこぐま座	地域の文化拠点としてソーシャルインクルージョンの機能を持ち、障害等の有無にかかわらず、誰もが文化芸術を享受できる未来社会の創造を目指す。また、表現活動による新たな体験をとおし、自身の発見と社会とのつながりを広げる機会としてこぐま座にて実施した。	12/17	1	104	
シ こぐま座冬休み特別公演	札幌市の専門人形劇団えりっこによる公演を実施した。より多くの市民に良質の人形劇を楽しんでいただくことができた。	1/11	1	88	
ス 中島・こぐま座Presents 雪あかりフェスティバル	さっぽろ雪まつりシーズンに訪れた国内外の観光客や札幌市民に向けて、雪を使った遊びや体験を通してこぐま座、中島児童会館の施設をPRする。こぐま座での人形劇公演やミニ雪像・スノーキャンドルづくり体験、キャンドルづくり工作にマジックバルーンと切り紙ワークショップ、雪遊び体験を実施した。	2/10～2/11	4	1,408	
セ 経験者のための人形劇クリニック発表会 「スクランブルシアター」	中島児童会館工作室を人形劇団の創作活動の場として、毎週水曜日(10:00～15:00)に開放し、新たな作品作りに取り組んだ。リニューアルした作品の公演を行った。	2/18	1	106	

ソ	パペットユーススクール パペットカレッジスクール発表会	次世代の人形劇を担う劇団の育成事業として、中高生、大学生等を対象として実施した。その集大成として、こぐま座で人形劇公演を行った。	2/24～2/25	2	180	
タ	こぐま座こども人形劇団	札幌市内の小学校3年生から6年生を対象に、人形劇を通して、様々な表現活動を展開していく。また、集大成としこぐま座で人形劇の公演を実施した。	3/3	1	61	
チ	「夏休み」「冬休み」公演	学校の長期休みに合わせ、人形劇等の連続公演など、イベントを含めた公演を企画し実施した。 ※(1)ーア「一般公演」に含む。				
合 計				200	8,982	

(2)各種講座等の育成事業

区 分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備 考	
ア	初心者のための人形劇講座	4/20～7/16	9	49		
イ	経験者のための人形劇講座 (パペットカレッジ・経験者のための人形劇クリニック)	6/27～2/25 8/23～3/6	77	570	パペットカレッジ全39回 233人参加 経験者のための人形劇クリニック全38回 337人参加	
合 計					619	

(3)子どもの舞台表現活動の推進

区 分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備 考	
ア	こぐま座こども人形劇団	5/24～3/3	48	578		
イ	人形劇クラブの指導及び育成	和光小ミニ児童会館 5/19～10/27 三角山小ミニ児童会館 5/25～12/4 緑丘児童会館 5/30～12/26	48	378		
ウ	パペットユーススクール	6/27～2/25	39	357		
合 計					1,313	

(4)ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)の機能を有した文化芸術事業の拡充

区 分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備 考	
ア	障害者等による文化芸術活動 推進事業 『文化の扉を開こう!』 パペットアートヴィレッジ	7/8～12/17	12	465		
イ	障害者等による文化芸術活動 推進事業 『文化の扉を開こう!』 人形劇体験プログラム	北海道真駒内養護学校 8/31 北海道拓北養護学校 9/25 札幌養護学校 白校高等学園 2/19	3	271		
合 計					736	

(5) 地域との共生および関係機関との連携

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア	かもくま祭×あそびのフェスティバル				
	公立として全国初の児童会館に併設された人形劇専門劇場が誕生して47年が経ったことをお祝いするとともに、2施設が併設されている歴史的価値を市民へ伝える機会として様々な遊びのコーナーや屋外ステージでの公演を実施した。また、施設の特徴を生かし、豊水・西創成・曙地区民生委員児童委員協議会、パークホテル、中島公園管理事務所等と協働で実施した。	7/1～7/2	3	1,325	公演観劇者数は(1)公演事業-カで報告
イ	人形劇指導育成事業 アウトリーチ事業				
	劇場の機能やノウハウを地域に向けて発信するアウトリーチ事業を実施した。人形劇を通して、子どもたちのコミュニケーション能力の向上を目指し、豊かな文化芸術体験機会の提供と人材育成を行った。資生館小学校4年生には人形劇創作、北海道真駒内養護学校(中・高等部)と札幌市立北翔支援学校(高等部)には人形浄瑠璃体験ワークショップを実施した。	資生館小学校 5/19.6/27.7/7, 9/14.9/28 北海道真駒内 養護学校 6/6.6/20 札幌市立 北翔支援学校 1/31	8	503	
ウ	札幌劇場連絡会				
	札幌圏にある劇場の発展や社会的地位の向上を図り、舞台芸術の振興及び舞台芸術による地域振興に資することを目的とした「札幌劇場連絡会」へ継続加入した。札幌圏の劇場とのネットワークを拡充し、各団体との協働によって様々な事業を実施した。	4/1～3/31			協働の公演事業「札幌劇場祭TGR(シアターゴウラウンド)2023」については、(1)公演事業-アで報告
合 計				1,828	

(6) 社会貢献事業の取組

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア	広域文化支援ネットワーク形成事業				
	道内外の文化団体、関係機関とのつながりや連携を強化し広域的なネットワークを形成することで、文化活動を通じた地域コミュニティの再生、地域や施設の活性化を図った。社会のニーズに応じたさまざまな事業を企画・実施した。 ①チャリティー公演の企画・実施 ②あそびを通じた交流広場の企画・実施 ③舞台体験プログラムの企画・実施(人形劇体験ワークショップ、伝統芸能体験ワークショップ)	9/22～3/25	19	1,642	
合 計				1,642	

(7) 中島児童会館との協働事業

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考
ア	GW特別企画 パペットフェスティバル あそびの劇場こぐま姫を救え！in Nakajima シティー 【再掲】				
	ゴールデンウィークに合わせ、人形劇団・パフォーマーによる公演と中島児童会館体育室で段ボール工作を行った。遊びの劇場は、3グループに別れ中島公園全体を使ったこっこ遊びを展開した。	5/3～5/5	(5)	(664)	(1)公演事業-エで報告
イ	かもくま祭×あそびのフェスティバル 【再掲】				
	公立として全国初の児童会館に併設された人形劇専門劇場が誕生して47年が経ったことをお祝いするとともに、2施設が併設されている歴史的価値を市民へ伝える機会として様々な遊びのコーナーを展開する事業を実施した。また、施設の特徴を生かし、豊水・西創成・曙地区民生委員児童委員協議会、パークホテル、中島公園管理事務所等と協働で実施した。	7/1～7/2	(3)	(1,325)	公演観劇者数は(1)公演事業-カで報告
ウ	あおぞらピクニックシアター 【再掲】				
	自然豊かな中島公園のフィールドを活かし、ピクニックしながらゆっくりとお芝居を楽しむ企画を実施した。様々なパフォーマーが繰り広げる楽しい人形劇や、遊びの仕掛けなどを随所に仕掛け、一日を通して参加者が楽しめる内容にできた。多くの市民の目に触れることで劇場のPRも兼ねることができた。	9/2～9/3	(2)	(395)	(1)公演事業-コで報告
エ	資料室MA・SO・BO 子ども向けワークショップ 親子向けワークショップ				
	8月は札幌市在住の絵本作家「すずきも」さんを講師として、子ども向けワークショップオリジナル絵本「バタバタ絵本づくり」を行った。9月は神奈川県在住の絵本・紙芝居作家「長野ヒデ子」さんを講師として親子向けワークショップ4場面紙芝居づくりを行った。	8/10 9/23 3/9	3	40	

オ	「こどものまなび塾」(ボランティア養成講座)・「こども文化セミナー」	神奈川県在住の絵本・紙芝居作家「長野ヒデ子」さんを講師として招き、絵本や紙芝居に込めた思いや制作秘話についてお話しいただいた。また、絵本学会理事の長野麻子さんから、絵本を読み聞かせる時の発方法やアドバイスを聞いた。	9/23～1/25	20	661	
カ	資料室MA・SO・BO おはなしの会	「MA・SO・BO」を活用し、こぐま座ボランティアグループ「おはなしの会」が幼児・親子を対象に紙芝居やペープサート、季節に合わせた工作を行った。	4/12～3/13	20	208	
キ	中島・こぐま座Presents 雪あかりフェスティバル 【再掲】	さっぽろ雪まつりシーズンに訪れた国内外の観光客や札幌市民に向けて、雪を使った遊びや体験を通してこぐま座、中島児童会館の施設をPRする。こぐま座での人形劇公演やミニ雪像・スノーキャンドルづくり体験、キャンドルづくり工作にマジックバルーンと切り紙ワークショップ、雪遊び体験を実施した。	2/10～2/11	(4)	(1,408)	(1)公演事業-スで報告
合 計					909	

(8)その他

区分	実施内容	実施日	回数等	参加人数	備考	
ア	人形劇公演観劇 スタンプラリー	4/1～3/31		3,217	やまびこ座と 合同で開催 (※参加人数＝ カード発行枚数)	
イ	市民ボランティア事業 「指人形ボランティア」	4/1～3/31	9	95		
ウ	資料室MA・SO・BO	4/1～3/31	359	15,796		
エ	資料室MA・SO・BO 657美術館 絵本原画展	7/1～8/20 9/22～10/22 12/9～1/15 3/9～3/31	4	(5,265)	参加人数は、「資 料室MA・SO・BO」 に計上	
オ	利用者説明会	3/13	1	10		
合 計					19,118	

令和5年度 自主事業(物品販売事業)報告書

	販売物品	単価(円)	販売数(個)	合計(円)
1	手づくりおもちゃ(たけとんぼ)	100	28	2,800
2	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(ハンドパペット)	800	33	26,400
3	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(ハンドパペット)	500	0	0
4	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(はらぺこ青虫くん)	600	33	19,800
5	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(ととけっこ)	600	0	0
6	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(指人形)	500	10	5,000
7	やまびこ座・こぐま座ともの会製品(30th指人形)	400	0	0
8	オリジナル商品(書籍)	1,785	0	0
9	オリジナル商品(ポストカード)	50	9	450
10	オリジナル商品(シール)	50	0	0
11	オリジナル商品(ミニタオル)	200	13	2,600
12	オリジナル商品(やまびこピンバッジ)	350	0	0
13	オリジナル商品(やまびこストラップ)	350	2	700
14	オリジナル商品(こぐまピンバッジ)	350	1	350
15	オリジナル商品(こぐまストラップ)	350	5	1,750
16	オリジナル商品(40thクリアファイル)	200	18	3,600
17	オリジナル商品(40thてぬぐい)	500	9	4,500
18	オリジナル商品(30thクリアファイル)	200	17	3,400
19	オリジナル商品(30thてぬぐい)	500	5	2,500
20	缶バッジ(大)	200	4	800
21	缶バッジ(小)	100	10	1,000
22	フェルト小物	300	50	15,000
23	ガチャポン	200	207	41,400
24	ガチャポン	100	55	5,500
25	オリジナル商品(コットントート)	500	3	1,500
26	オリジナル商品(エコバック)	500	9	4,500

販売個数 累計 521 個

売上額 累計 143,550 円

令和5年度 物品販売事業
販売実績報告書

月	販売物品																									個数	売上額	
	手づくり おもちゃ	アニマル ハンドパペット	はらぺこ 青虫くん	ととけっこ	指人形	30th 指人形	書籍	ポスト カード	シール	ミニ タオル	王子 ピンバッジ	王子 ストラップ	こぐま ピンバッジ	こぐま ストラップ	40thクリア ファイル	40th てぬぐい	30thクリア ファイル	30th てぬぐい	缶バッジ (大)	缶バッジ (小)	フェルト 小物	ガチャポン	ガチャポン	トート バッグ	エコ バッグ			
	100	800	500	600	600	500	400	1,785	50	50	200	350	350	350	350	200	500	200	500	200	100	300	200	100	500	500		
4月	個数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	3	25	12	0	0	50	9,900
	売上額	300	1,600	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	200	0	400	100	900	5,000	1,200	0	0		
5月	個数	12	5	0	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	1	29	22	1	1	83	19,400
	売上額	1,200	4,000	0	2,400	0	1,500	0	50	0	0	0	0	0	350	400	0	200	0	0	0	300	5,800	2,200	500	500		
6月	個数	3	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	3	2	1	1	0	0	1	15	0	0	1	34	7,600
	売上額	300	0	0	600	0	0	0	250	0	0	0	0	350	0	600	1,000	200	500	0	0	300	3,000	0	0	500		
7月	個数	5	6	0	2	0	0	0	3	0	2	0	1	0	2	5	2	5	2	2	2	0	12	0	1	2	54	16,600
	売上額	500	4,800	0	1,200	0	0	0	150	0	400	0	350	0	700	1,000	1,000	1,000	1,000	400	200	0	2,400	0	500	1,000		
8月	個数	1	9	0	5	0	1	0	0	0	6	0	0	0	1	3	2	3	0	0	0	5	16	0	0	0	52	19,250
	売上額	100	7,200	0	3,000	0	500	0	0	0	1,200	0	0	0	350	600	1,000	600	0	0	0	1,500	3,200	0	0	0		
9月	個数	4	5	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	16	0	0	0	36	11,500
	売上額	400	4,000	0	600	0	1,000	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,100	3,200	0	0	0		
10月	個数	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	8	10	0	1	4	34	12,600
	売上額	0	1,600	0	1,200	0	1,000	0	0	0	0	0	350	0	350	200	500	0	500	0	0	2,400	2,000	0	500	2,000		
11月	個数	0	0	0	12	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	14	39	0	0	1	74	22,300
	売上額	0	0	0	7,200	0	1,000	0	0	0	200	0	0	0	0	200	500	0	500	0	200	4,200	7,800	0	0	500		
12月	個数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	15	3,600
	売上額	0	800	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,600	0	0	0		
1月	個数	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5	0	0	1	6	0	0	0	0	18	5,700
	売上額	0	1,600	0	600	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	400	0	1,000	0	0	100	1,800	0	0	0	0		
2月	個数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	26	13	0	0	43	8,200
	売上額	0	0	0	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	300	5,200	1,300	0	0		
3月	個数	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4	4	6	8	0	0	28	6,900
	売上額	0	800	0	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	500	0	0	0	400	1,200	1,200	800	0	0		
合計	個数	28	33	0	33	0	10	0	9	0	13	0	2	1	5	18	9	17	5	4	10	50	207	55	3	9	521	143,550
	売上額	2,800	26,400	0	19,800	0	5,000	0	450	0	2,600	0	700	350	1,750	3,600	4,500	3,400	2,500	800	1,000	15,000	41,400	5,500	1,500	4,500		